

藻岩・南沢地区 学校配置検討委員会ニュース

発行
2024年4月

藻岩・南沢地区では、藻岩南小学校の小規模化による課題の解決等のため、令和5年2月より「学校配置検討委員会」を設置し、検討を進めております。

この度、令和6年2月27日に第5回学校配置検討委員会を開催いたしました。検討状況につきまして、地域の皆様へお知らせしますので、是非とも多くのご意見をお寄せください。

検討委員会の配布資料等については札幌市教育委員会のホームページに掲載しています。

https://www.city.sapporo.jp/kyoiku/top/tekisei/moiwa_minamisawa.html





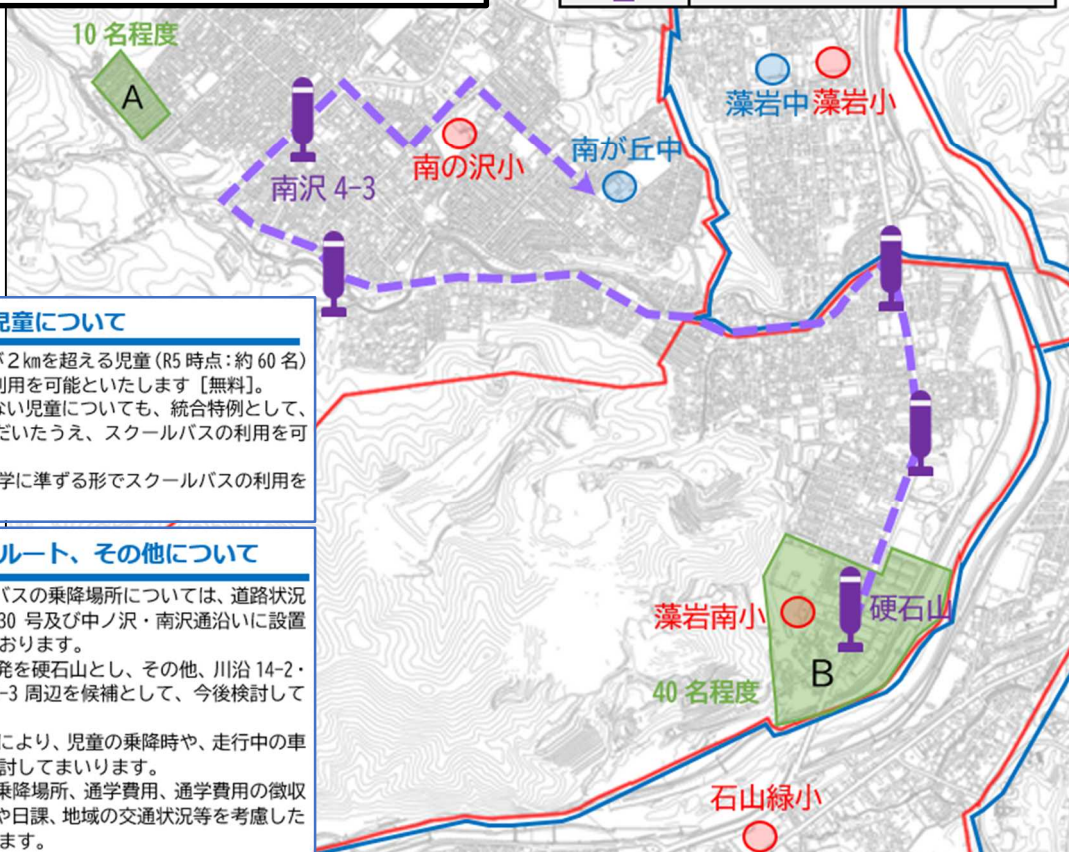
※第5回配布資料：地域から寄せられた意見（2件）、
通学距離2kmを超える児童の通学方法【スクールバスの運行】等についてなど

協議事項 通学距離2kmを超える児童の通学方法【スクールバスの運行】等について

スクールバスはバス会社に運行委託することから、現状のバス停と南が丘中学校までの想定ルートという形で示しております。

※スクールバスの運行ルート、バス乗車位置等については、決定していません。

	スクールバス運行ルート ※イメージ
	乗降場所（イメージ）



1 スクールバスの対象児童について

- ・南が丘中学校からの通学距離が2kmを超える児童（R5時点：約60名）については、スクールバスの利用を可能といたします【無料】。
- ・また、通学距離が2kmを超えない児童についても、統合特例として、各ご家庭に費用をご負担いただいたうえで、スクールバスの利用を可能といたします。
- ・児童会館退館時についても、通学に準ずる形でスクールバスの利用を可能とします。

2 スクールバスの運行ルート、その他について

- ・スクールバスの運行ルート、バスの乗降場所については、道路状況を考慮し、基本的には国道230号及び中ノ沢・南沢通沿いに設置することが望ましいと考えております。
- ・バス乗降場所については、始発を硬石山とし、その他、川沿14-2・川沿10-2・南沢3-4・南沢4-3周辺を候補として、今後検討してまいります。
- ・バス運転手及び添乗員の配置により、児童の乗降時や、走行中の車内の安全を確保することを検討してまいります。
- ・運行ルートや運行時刻、バス乗降場所、通学費用、通学費用の徴収方法等については、利用人数や日課、地域の交通状況等を考慮したうえで、開校時まで決定します。

上の図につきましては、第5回配布資料として本市HP上にも掲載しております。

【協議内容（提案内容）】

スクールバスの対象児童について

- 南が丘中学校からの通学距離が2 kmを超える児童（R 5時点：約60名）については、スクールバスの利用を可能とする〔無料〕。
- 通学距離が2 kmを超えない児童についても、統合特例として、各ご家庭に費用をご負担いただいたうえ、スクールバスの利用を可能とする。

※前回提案に追加

- 児童会館退館時も、通学に準ずる形でスクールバスの利用を可能とする。

意見・質疑応答の概要

※類似の発言内容をまとめるなど文言を整理して掲載しています。

※「●」・・・委員からの意見、質問等

※「⇒」・・・委員、札幌市・教育委員会職員からの説明、回答

スクールバスの運行について

- 通学距離2 km未満の児童もスクールバスを利用できるのはよいことだが、各家庭が費用を負担することは受け入れられない。納得が得られないのではないかと。なぜこのような提案となったのか。

⇒【教育委員会】

- ・基本的に2 km未満の児童の登下校にはバスの乗車は認めておらず、これまでの統合校においても同様の対応をさせていただいている。しかし、本地区においては統合の特例として、費用は各家庭にご負担いただくことにはなるが、教育委員会（市）がスクールバスを手配し、利用可にするという提案をさせていただいた。

- 道路を一つ隔てて有料・無料というのは納得がいかない。バスに乗るのであれば、全員助成されるべきと考える。
- 検討を開始した当初は通学の課題が大きいため強く反対の立場だったが、まだ細かな課題はあるものの、スクールバスについて市教委が検討委員会や地域の意見をくみ取り、よく考えて提案してくれたとは感じている。ただし、全体的にはまだ賛成とも反対とも言える段階ではないと思っている。まだ細かい課題があるので、限りなく100%近い人が納得するには程遠い状況と感ずる。
- これまで議論を重ね、ようやくスクールバスを出せるというところまで来たと感じており、前進できていると考えている。
- 市教委は、地域の意見をくみ取り、歩み寄った案を提示してくれていると感じる。
- スクールバスで通学できるのは良い案と感じる。
- スクールバスの運行について、前回と今回で市教委からは検討委員会の意見を踏まえた踏み込んだ提案をしてもらったと感じている。その中で、いつまでも反対という意見を述べるばかりではがちが明かないと思う。

取組全般について

- 統合自体に反対であり、藻岩南小学校は素晴らしい教育をしているので残してほしいと

考えている。全国的に不登校の子どもが増えている状況の中、歩いて学校に通うのが辛いと感じると、もっと増えてしまうと考える。これは一例だが、本当に子どもたちのことを考えているならば、地域から学校をなくすべきではないと感じる。

⇒【教育委員会】

- ・通学についてしっかり考えないといけないという認識は同じである。その提案の一つとして、スクールバス案がある。様々な意見が出るのは当然だが、「そもそも統合反対」と言われてしまうと議論を続けることが難しくなってしまう。課題に対する対策方法（案）についてどうかという視点でご議論いただきたく思う。

- 全国的な少子化等の状況から、いずれ学校統合は必要なことと考える。単に統合に反対するのではなく、統合する場合の課題を抽出し、いかにしてその解決を図るかを考える必要がある。
- 検討の結果、課題の解決が図れるかが判明した段階で初めて、統合すべきかどうか結論づけることができるのではないか。
- 少子化による学校統合について全国的な課題であるのはわかるが、地域の声で取りやめた事例もある。ぜひとも地域の意見を取り入れてほしい。児童会館に行っている子どもたくさんいる中、学校に行って安心して家に帰れる環境についてよく考えてほしい。
- 地域が納得していないのに検討委員会を設置するのがおかしい。やり方に問題を感じる。地域説明会が開かれず、検討委員会ニュースも多くの人には読んでいない。そのため誰からも意見されないまま進んでいる。
- 検討委員会において、そもそも統合に反対という意見を出してもよいのか。また、反対の意見が出れば市や市教委は取組をやめるのか。

⇒【教育委員会】

- ・これまで統合を前提に検討を進めていただいているが、「そもそも反対」というご意見そのものを取り除いて議論を続けてもらうつもりはない。ただし、反対されている方に対して、どのようにすれば少しでも前向きな考えになってもらえるかという努力は最後まで続けさせていただきたい。

- 市教委が曖昧な発言をするので、取組そのものに関して様々な意見が出てしまっている。どのように進めていくのか方向付けをきちんとすべきである。

⇒【教育委員会】

- ・これまでも、取組案を前提に進めさせていただくことははっきり申し上げている。一方で丁寧に取組を進める必要があると考えており、前提として進めるのと、ありきで進めるのでは少し違いがあると考えている。一部の方に納得していただけていないということであれば、別途個別に意見交換したいと考えている。

- 統合により生じる送迎や学校行事への参加など、保護者の負担についても考えてほしい。
- 統合に反対の方の意見も尊重されるべきだが、前向きに捉えている方の意見もないがしろにしてはならないと感じる。教育関係の方の意見も尊重しながら検討を進められるとよい。

- 取組による影響が一番大きい藻岩南小関係者の意見を丁寧に聞いていくべきと思う。特に、低学年や未就学児の保護者の意見もしっかり聞きながら進めるべきと感じた。
- 仮に取りやめの方向で意見をまとめる場合でも、感情的な意見ではなく、客観的な理屈の整理が必要である。
- 何がなんでも反対というわけではなく、本当にこの取組が実現可能なのか、課題について一つ一つ検討していければよいと考えている。最終的には、子どもたちにとって良い取組になるかどうかという視点で検討する必要がある。
- 先日TV番組で（札幌市初の義務教育学校）福移学園について取り上げられていて、率直に良いな、楽しそうだなと感じた。
- 前回資料に義務教育学校のメリットばかり書かれていたが、それだけではないと感じる。
- 移行期間はあるかなど、もう少し義務教育学校に関する協議が必要ではないか。
- 取組に係る課題や協議事項について、総合的に検討し判断していく必要がある。3か月に1回の会議の開催ペースにとらわれず、準備ができた段階で協議ができるとよい。

【協議結果】

- スクールバスの運行について、次回以降も引き続き検討を行う。
- 事務局が必要に応じて個別協議を実施し、今後協議すべき内容を整理するとともに、次回の開催日程の調整も行う。

次回の検討委員会について

- ▶会議名 第6回 藻岩・南沢地区 学校配置検討委員会
- ▶開催日時 未定
- ▶開催場所 未定

※開催日時及び場所は決定次第、ホームページでお知らせいたします。なお、検討委員のみが参加する会議のため、一般の方は入場できません。後日ニュースレターやホームページで協議内容についてお知らせいたします。

次回（第6回）検討委員会の議題（予定）

- ▶第5回検討委員会の振り返り
- ▶地域や保護者の皆様から寄せられた声の紹介
- ▶通学方法や通学安全、義務教育学校に関することなど、取組案の課題整理と解決の方法
- ▶その他、当日協議を行う必要があるもの

ご意見、ご質問は、下記事務局までお寄せください。

藻岩・南沢地区 学校配置検討委員会事務局

- ▶札幌市教育委員会生涯学習部学校施設課（学校配置マネジメント担当）
- ▶電話：011-211-3836 FAX：011-211-3837
- ▶E-mail：gakkokibo@city.sapporo.jp



さっぽろ市
02-S01-24-829
R6-2-633
SAPPORO